

早期発見のためのチェックリスト

子ども、親、家庭の様子について、それぞれ「緊急的な支援を要するもの」「虐待を疑わせるもの」「虐待の視点を持つ必要のあるもの」とし、チェック項目を示しています。「緊急的な支援を要するもの」については、特に注意を要する項目として児童相談所への通告を考慮してください。ここに示してある項目は、虐待以外の理由によっても起こりうるものも含まれていますが、虐待の原因、兆候であったり、虐待の影響として起こる可能性の高い事項なので、注意深く見守ってください。

なお、本チェックリストは地域、学校、保健、医療などに共通する項目を示しています。

	項目	状況	内容（具体例）
子どもの様子	緊急的な支援を要するもの	<input type="checkbox"/> 保護を求めている	差し迫った事情が認められ、子ども自身が保護、救済を求めている
		<input type="checkbox"/> 不自然なケガ	複数新旧の傷やアザ、骨折、打撲傷、入院歴、乳幼児ゆさぶられ症候群（※シェイクンベイビーシンドローム）
		<input type="checkbox"/> 低栄養を疑わせる症状	低身長、低体重（※-2SD以下）、栄養失調、衰弱、脱水症状、医療放棄、治療拒否
		<input type="checkbox"/> 性的被害	性交、性行為の強要、妊娠、性感染症罹患
		<input type="checkbox"/> 自殺未遂	自殺を企てる、ほのめかす
		<input type="checkbox"/> 不自然な長期の欠席	長期間まったく確認できない状況にある
	虐待を疑わせるもの	<input type="checkbox"/> ケガを隠す行動	話をしない、一貫しない説明、脱衣の拒否、夏に長袖
		<input type="checkbox"/> 異常な食欲	給食などむさぼるように食べ、際限なくおかわりする、異食
		<input type="checkbox"/> 強い不安	衣類を着替える際など異常な不安を見せる
		<input type="checkbox"/> 突然の行動の変化	ぼーとしている、話をしなくなる、うつうつとする
		<input type="checkbox"/> 治癒しないケガ	治療をしていないため治癒しない、治癒が不自然に遅い
		<input type="checkbox"/> 繰り返される症状	膀胱炎症状の反復、尿路感染や膣炎（性的虐待を疑う）
		<input type="checkbox"/> 虫歯等の治療が行われていない	歯や周辺組織の外傷、虫歯、口腔粘膜外傷、口腔周囲外傷
		<input type="checkbox"/> 繰り返される事故	不自然な事故が繰り返し起きている
		<input type="checkbox"/> 性的興味が強い	年齢不相応な性知識、自慰行為、他児の性器を触る、自分の性器を見せる
		<input type="checkbox"/> 過去の介入歴	複数の通告、相談歴、一時保護歴、施設入所歴、入院歴
		<input type="checkbox"/> 保護者への拒否感	おそれ、おびえ、不安を示す、大人に対しての執拗な警戒心
		<input type="checkbox"/> 抑制的な行動が強い	無表情、凍り付くような凝視
	<input type="checkbox"/> 恒常的な不衛生	不潔な衣服、異臭、シラミなどによる湿疹	
	虐待の視点を持つ必要のあるもの	<input type="checkbox"/> 攻撃性が強い	いじめ、動物虐待、他児への暴力
		<input type="checkbox"/> 孤立	友達と一緒に遊べなかったり、孤立する
		<input type="checkbox"/> 体調の不調を訴える	※不定愁訴、反復する腹痛、便秘などの異常
		<input type="checkbox"/> 睡眠の障害	夜驚、悪夢、不眠、夜尿（学童期以降に発現する夜尿は要注意）
		<input type="checkbox"/> 不安	暗がりやトイレを怖がるようになる
		<input type="checkbox"/> 過度の甘え行動が強い	年齢不相応な幼稚さ、担任などを独占したがるなど、過度のスキンシップ
		<input type="checkbox"/> 丁寧すぎる態度	年齢不相応の言葉遣い、態度
		<input type="checkbox"/> 性的関心が高い	豊富な性知識、性体験の告白、セクシーな雰囲気
		<input type="checkbox"/> 性的逸脱	不特定多数を相手にした性交渉、性的暴力、性的いじめ
		<input type="checkbox"/> 精神的に不安定である	精神的、情緒的に不安定な言動がある
		<input type="checkbox"/> 反社会的な行動（非行）	深夜徘徊、喫煙、窃盗、シンナー吸引、不純異性交遊
		<input type="checkbox"/> 嘘が多い	繰り返し嘘をつく、空想的言動が増える
		<input type="checkbox"/> 保護者の態度を窺う様子	親の顔色を窺う、意図を察知して行動、親と離れると笑顔を見せる

※ 「乳幼児揺さぶられ症候群（シェイクンベイビーシンドローム）」 脳の成長が未成熟な乳幼児を激しく揺さぶり、衝撃を与え、頭蓋内出血や脳の断裂を起こすこと。

※ 「-2SD以下」 標準成長曲線に示される値（SD＝標準偏差）-2SDは出現率2.3%の低い値

※ 「不定愁訴」 体のあらゆる部分のだるさ、気持ち悪さなど、違和感の持続的訴え。家庭の不和、悩みなどの心理的要因が背景の場合がある。